

運営推進会議記録

開催 日時	平成29年11月27日(月)	場 所	サンフラワーグループホームリビング
	14時00分～15時00分		
参加事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・サンフラワーケアセンター(小規模多機能型居宅介護) ・サンフラワーグループホーム(認知症対応型共同生活介護) ・サンフラワーグリーンホーム(地域密着型介護老人福祉施設) 		
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○ケアセンター・グループホーム 管理者 佐藤、介護支援専門員 嶋田(議長) ○グリーンホーム 施設長 木下、計画作成担当者 古賀(晴)(書記) ○ライフ 介護支援専門員 古賀(悠) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○小山市地域包括ケア推進課 菅原様 ○高齢者サポートセンター桑絹 山田様 ※民生委員大島様、老人会会長渡邊様は都合により欠席 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーンホーム入居者家族 岡様 ○ケアセンター利用者家族 井澤様 ○グループホーム入居者 椎名様、グループホーム入居者家族 角田様 ※グリーンホーム利用者 大蔵様は都合により欠席 		
<p>活動内容及び回数等 ※別紙 運営推進会議資料参照</p> <p>1. 開会あいさつ</p> <p>嶋田) ただ今より、平成29年度第4回運営推進会議を始めます。</p> <p>2. 管理者あいさつ</p> <p>佐藤) 本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>先月29日には、法人の一大イベントであるふれ愛デイが開催されました。生憎の天候ではありましたが、多くの方々にきて来て事ができました。ありがとうございました。</p> <p>今年もあと残すところ1ヶ月となりましたが、施設、事業所では次年度の事業計画及び予算を作成しております。地域の方にも、アドバイス等頂けたらと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。</p> <p>3. 協議</p> <p>1) 各施設・事業所からの活動内容報告及び評価・助言等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンフラワーケアセンターの活動内容報告及び評価・助言等 <p>嶋田) ケアセンター運営推進会議資料読み上げにて説明。</p> <p>御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。</p> <p>参加者より、特に御意見・御質問なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンフラワーグループホームの活動内容報告及び評価・助言等 			

嶋田) グループホーム運営推進会議資料読み上げにて説明。

御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

参加者より、特に御意見・御質問なし。

・サンフラワーグリーンホームの活動内容報告及び評価・助言等

古賀・晴) グリーンホーム運営推進会議資料読み上げにて説明。

御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

角田) 二重ロックとはどういうものか。

古賀・晴) 窓の鍵についているもので、鍵の端についており、ロックを外さないと鍵が開かない仕組みとなっている。また、リビングは暗証番号のダイヤルを回して開くようになっている。

木下) 補足としまして、年末年始のショートステイは現在空きがありますので、ご家族、ご近所の方で利用を検討されている方はぜひご相談頂ければと思います。

2) 地域福祉推進の為の情報提供

○小山市地域包括ケア推進課

菅原) オレンジ色のチラシをお配りしたが、長生きをすることで、色々な衰えが出て来るかと思えます。認知症は他人事ではないと思えます。今回は、予防をテーマにしたもので、開催予定ですが、現在の所、申し込みは少な目となっています。興味のある方はぜひ、ご参加下さい。資料等々の準備の都合がありますので、電話一本入れて頂ければ参加可能となっております。ぜひいらしてください。

また、外部の団体から言われたのですが、外国人労働者の労働環境はきちんと権利が守られているかという質問がありました。洗心会には外国人労働者の方はいますか。

木下) E P Aについては、現在、本部が動いているが詳細については検討中です。まだ決定した事はない状況です。

菅原) 要は、外国人労働者の権利をしっかり補償してほしいとの意見がありましたので、質問させて頂きました。

井澤) 今、世間では「未病」に関心が高まっているが、市として何か取り組みはないのですか。

菅原) 現在のところ、市として未病に対する取り組みはありませんが、要介護状態を防ぐとか、病気を未然に防ぐという目的で、個人の健康を左右する環境因子を本人自らがコントロールして病気を防ぐ事が大切なのですよね。

井澤) 今、「カラダ学」というものが主流となっていて、リンパマッサージ等で病気を予防していくという考え方があり、その資格を持っている人たちがいると思うが、そういった方々に協力してもらい、市で勉強会等は開けないのか。

菅原) 市にも優秀な保健師が何人もおまして、ヘルスプロモーションという概念に基づき、活動指針も出ておまして、その概念は理解しておりますので、地域に出て行き、本来そういった啓発活動もしていくべきであり、保健師が地域に出て行けばそれで自ずと担っていくものだと考えています。

井澤) 例えば、資格を持っている人が活動に参加できるという機会があれば、と思うのですが。

菅原) 先進地では行われていますね。

井澤) 今度、ローソンに付随する形で行われるという話を聞いた。

菅原) 薬局やスーパー、コンビニ等、お客様が来る場所で、社会の変化に伴い、店舗の一部分にそういったコーナーを設けるという動きが出ていますね。

井澤) 一般でもやっているの、小山市でも取り組んでみてはどうかと思った。

菅原) 小山市の頼みの綱は包括支援センターで、高齢者施策に特化したサポートセンターではあるが、全ての施策は介護保険の地域包括システムがお手本となって、子どもも障がい者施策も見習って包括ケアを推進しましょうという流れは国の方針にもございます。共生型社会を国が打ち出していますが、いくら包括支援、高齢者施策に特化していても、相談の受付として、インテークの段階はどこの施策でも受け入れましょうという施策を打ち出している。市役所も財政的には厳しい状況で、新しいことに取り組むことが非常に困難な状況ではありますが、お金も人も資源がないときにどうするかというと、既存の施設ですべての相談を受け付けるとか、保健指導にもその部分を付け加えるとかいう形で対応している。保健師ももっと外へ出て行かなければならないが、中の仕事で手いっぱいになっている現状もある。本当ならもっと地域へ出て地域の皆さんの健康のサポートをしていければいいのですが、その仕組みを作っていく事で、医療費等の削減にも繋がりますよね。考えとしてはあるのですが、まだ実行途上なのが現状です。

○高齢者サポートセンター桑絹

山田) 特にありません。施設の方でもしっかり取り組んで下さっているのが、この写真等々をみてもよく分かります。

木下) この新聞は、毎月の請求書に同封しご家族様にも渡しています。暮らしぶりが分かっているといいと好評を得ています。このようにどんどん情報を発信していかなければと思っています。

井澤) 分かりました。ありがとうございました。

菅原) 利用者の皆さんは散歩へ出ているのですか。

嶋田) 今、曇ってきたが天気が良かったこともあり、外へ出ています。

菅原) やはり気分転換は大切ですね。

嶋田) そうですね。

山田) 先程の話であった通り、包括のやる事はどんどん増えてきている現状がある。認知症推進委員として活動を始めていますし、コーディネーターも4月から配置されており、認知症になる前の予防であったり、軽い認知症の方がこれ以上悪くならない為の取り組みとしてカフェのようなところをしたりしている訳ですが、そういった部分が求められて来ており、また来年からどんどん変わっていくと思うのですが。

菅原) どんどん変わっていきますね。

山田) はい、どんどん人員を増やして頂かないと。こちらには交流室といった地域との交流をする場がありますか。

佐藤) はい、サンフラワーでは地域の老人会の会長さんを中心に、地域の方にも入って頂いている所で

はあるのですが、今年度、老人会の会長が変わり上手く進んでいない部分があります。

山田) 上に立つ人がいない地域だと難しいですね。

佐藤) 敷地が広い分、敷地に入るのに抵抗があるという意見がありました。地域密着故のメリットデメリットがあると感じているところです。

前回は話をしましたが、家事が得意な1人暮らしの方が施設に来て下さる機会を設けて、一緒に食事を作り食べることをして頂くことを考えています。必要であれば送迎をしていくことも検討しています。

山田) 送迎は大事ですね。

佐藤) 足が無い事で外へ出られないという方もいると思うので、そこはギブアンドテイクではないですが、そういう形で幅を広げていけたらと考えています。

もともと、包括があった場所は、今は「いきふれ」になっていますよね。

山田) 毎週月曜日に開催されていて、第1月曜日はマルベリー館に移動ってきて、よさこいや100歳体操等の取り組みをしている。基本毎週開催されていて、いつでも誰でも、行って50円支払えば参加できる事になっている。

佐藤) 洗心会でも地域貢献活動について模索している所です。登下校中の児童の見守りをしたり、小中学生の野球の審判が足りないとのことで手伝いに行ったりと、全職員に声をかけて案を募集している所です。地域からもこういう部分に人が欲しいとか、こういうサービスがあったらいいといった声もあれば、そこから自分達ができることを考えて行けたらと思います。

山田) なるほど、逆に地域からこういう事ができないか、という事があればサンフラワーさんに連絡をして協議していくということですね。

佐藤) はい。

岡) 地域交流ということであれば、先程おっしゃった自治会長さん、団体というのは、会長になった人がいかにリーダーシップを取れるかがキーですよ。そういう部分では、こちらの要望として、何をして欲しいのか、先方の希望を聞きつつ、積極的に声をかけて行かないと進んでいかないですね。

佐藤) 前任者がかなり積極的だったので、そこで引継ぎも上手くいかない部分があり、確かにこちらが積極的に行かないといけない部分もあったと思います。

岡) この地域は神社を中心に自治会がかなりしっかりしていると思います。

特定の人に積極的に働きかけていくことも必要かと思います。

3) その他

○グリーンホーム事例検討について

古賀・晴) 先程、少し新聞について触れましたが、文字だけではなく写真でも活動内容を知って頂きたく、10月号の新聞を思い添付しました。

・グリーンホーム事例検討資料読み上げにて説明

事例 81歳、女性、内容：入居後から体重の増加が見られているものの、車椅子は介助

にて移動。車椅子の自走を含め、活動量をアップさせることで体重の減少が見込めるのではないかとの予想を立て取り組みました。結果として、僅かではありますが、減少がみられました。無理だと思っていた自走も根気強く働きかけることで自ら動かすようになったこと、職員の思い込みでケアにあたっていたことなどの気付きも得られました。

御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

山田) この方の身長は何センチくらいですか。

古賀・晴) 150cm前後です。

山田) そうなると、少し多いですね。

菅原) 先生は何と言っているのですか。

古賀・晴) やはり、これ以上食事を削るのは難しいので、運動量をアップさせていきたいと思いますとの話でした。

嶋田) 他に何かありましたらお願いします。

佐藤) 私の方から2点ほどお願いがあります。次回、1月の運営推進会議にて外部評価をお願いしたいと思います。この後、お願いする方には資料を配布します。その後、自己評価したものを会議の3週間前までに皆様のお手元に届くよう送りますので、事前に評価をお願いします。忙しい時期で恐縮ですが、ご協力をお願いします。

また、関連のお知らせになりますが、ビーハウスカフェレストランで今年もクリスマスチキンを販売します。良かったらご購入下さい。今回は国産の鶏肉を使用し、安心・安全の物を手販売しますと担当者からお知らせがありましたので、ぜひ、宜しくお願いします。電話、FAX、店頭受け取り等対応しておりますので、宜しくお願いします。

次回 平成30年1/29(月) グリーンホームリビングにて実施予定。

事業所名 社会福祉法人 洗心会
サンフラワーグリーンホーム

記録作成日 平成29年12月8日
記録作成者 介護支援専門員 古賀 晴美